

第8回 働き方の多様化を踏まえた被用者保険の適用の在り方に関する懇談会 意見書

2024年7月1日

早稲田大学 松原 由美

取りまとめ案に既に一定程度盛り込んでいただいたため、修正を求めるものではないですが、被用者保険の適用が単純な（短期的視点での）損得の問題として捉えられることのないよう、被用者保険適用に伴う変化やメリットに加えて、「民間の金融商品とは異なる、支え合いの仕組みである公的保険の意義についてもしっかりと周知・広報していくべき」という点については、改めて強調したいと考えます。

また、今回は適用拡大の話に集中せざるを得ませんでした。適用拡大によって国保に従来以上の負担がかかり、その運営や存続に支障をきたす恐れが考えられることから、国保のあり方や支援に関する検討は、早急に取り組む必要があると考えます。

以上